

# 水色の天使

## 「今日という一日」



あるところに一人娘（7歳）を亡くした夫婦がいました。子どもを亡くしてから一年経ったころ「娘にもう一度会いたい」と嘆いていました。

ある日、水色の天使がその夫婦の前に突然現れて言いました。「今、あなたの持っているすべての財産と引き換えであれば、亡くなったお嬢さんと一緒に過ごせる日を一日だけプレゼントできますが、どうしますか？」

その夫婦は迷うことなくOKしました。そして水色の天使が続けて言いました。「しかしルールがあります。あなた方はその日が終わるまで、今この約束したことやお嬢さんと死別することの記憶は消してしまいます。まるで過去に戻った一日を自然に過ごす感覚ですよ、それでもいいのですか？」

その夫婦はお互いに顔を見合わせてゆっくりとした口調で「分かりました。」と返事しました。

そしてパッと光が・・・あっ！まぶしい・・・

次の瞬間、いつも通りの朝になっていました。そうです、娘が生きていた時の何気ない一日の始まりでした。朝から「早く起きなさい！！」妻の大きな声。パジャマ姿で機嫌悪そうに起きてきた髪の毛のボサボサな娘。眠たい目をこすりながら新聞を読む夫。貴重な貴重な一日が始まりました。

そうなのです。私たちが生きている今日は、いつか未来に水色の天使に全財産と引き換えにいただいた今日かもしれません。

作：鳥越介順

# お地蔵さん だよ！

2012.7月



## 暑中お見舞い 申し上げます。

ソニックジャパン 金沢支店 支店長  
(社)生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会(JAIFA)  
前本部副会長、石川県協会相談役(前会長)

鳥越介順(とりごえ かいじゅん)

100回記念

## プレゼント

このお話に出てくる水色の天使とお地蔵さんを描いたオリジナルコインを作りました。ちよとかわいいデザインです。

お客様の皆さまにはお誕生日に物語と一緒に贈らせて頂いたものです。

いいお話なので忘れないうちにコインを身に付けて頂けると嬉しいです。

そのオリジナルコインをご希望のちにプレゼントします!!

ご希望の方は

メール → [kaijun@p2222.nsk.ne.jp](mailto:kaijun@p2222.nsk.ne.jp)

Fax → 076 222-1251

この用紙のままFax

お名前

# まるで宅配スーパーのようで

春から東京の大学で寮に入り自炊生活をしている息子から妻のところにメールが来る!!

「この前のレトルトスープ美味かった! また送って下さい♡」  
妻はとて嬉しそうにメールを見せてみる

先日は「シーチキンとかコンフレクもお願いします♡」と……. そんなもの自分で買えばいいのと思うが妻は喜んで買いものに行き息子に送ってあげている。

「夕方に送ると次の日の午前中に届くんだよ」とニコニコ顔で妻が語る。私はびっくりして

「えっ! 朝注文メールが来て 次の朝届くんだ! ♪  
とあって宅配スーパー早いから…」と2人で大笑い。

くつ下メーカーがサラリーマン川柳のごとく応募している作品です。

# 足くサ川柳

- モナリザを ムンクに変える 俺の足
- 社内にも 足にも欲しい 風通し
- 父さんが こたつ入ると 猫が出る
- 洗濯機「まぜるな危険!」妻の文字
- 捨てたら?と 言われた靴下 おろしたて
- 欧米か いつでもどこでも 靴脱がず
- 父帰り 空気清浄 赤ランプ
- 裾上げ中 口で息する 店員さん
- 彼の家 寄ってはいけない ブーツの日
- 家に来て「何飼ってるの?」と訊く彼女
- 俺の足 掃除ロボット 追尾する
- 靴下は? 便座カバーと 洗濯中